

車上作動契約者の皆さまへのお知らせ

フォルクスワーゲンの 機械式シートベルトプリテンショナーについて

車上作動処理対象車追加のご連絡

一部輸入車の機械式シートベルトプリテンショナーについて、車上作動処理が可能となりましたので、関連情報をお知らせします。

☞ これまでメーカー側の意向で、取外し回収処理をお願いしていたものです。

機械式シートベルトプリテンショナーが装備されているかどうかは、車台詳細情報画面等で確認することができます。

取扱いの詳細は、自動車メーカー等の適正処理情報を参照してください（輸入車の〔各社情報〕はインターネット上（自動車リサイクルシステムホームページ: <http://www.jars.gr.jp>）で公開されています）

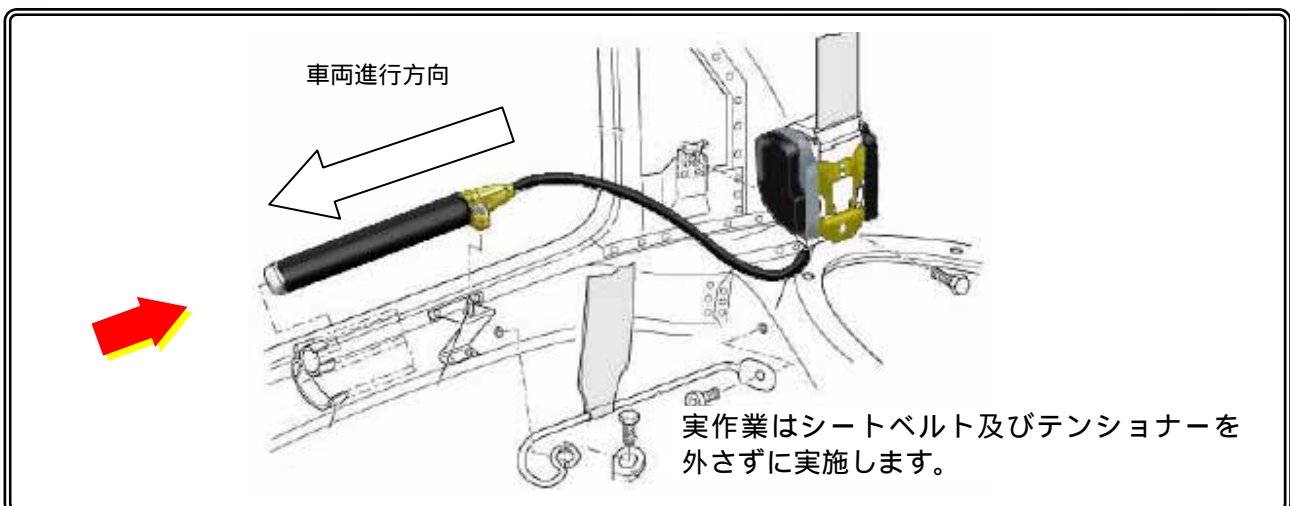
機械式シートベルトプリテンショナーの作動処理(輸入車の代表例)

シートベルト・タンクプレートを、バックルに差込んだ状態で作動処理を実施し、作業完了をシートベルトが引き出せないことで確認します。

それぞれの機械式シートベルトプリテンショナーに加える、衝撃の向きについて、以下をご参照願います。

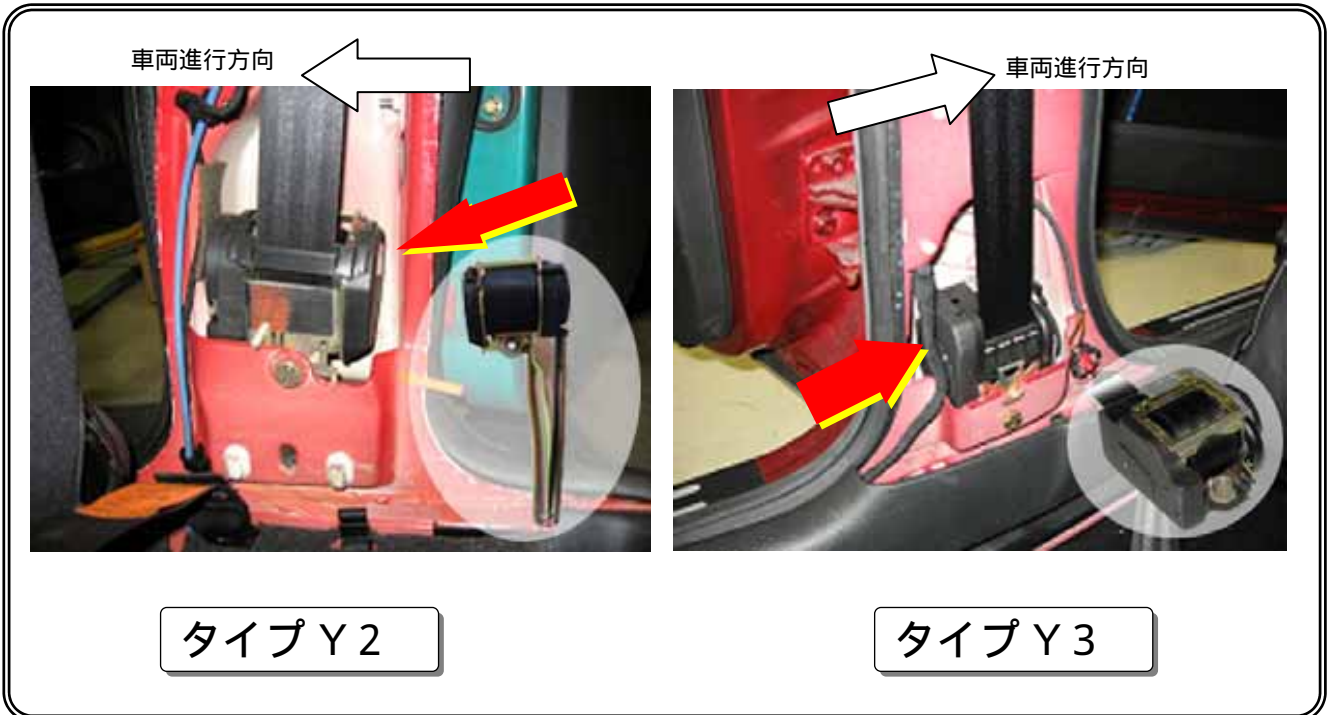
タイプ Y1 (フォルクスワーゲン)

テンショナー底部（図赤矢印方向）に衝撃を与えることで作動します。



タイプ Y2 / Y3 (フォルクスワーゲン)

テンショナー部の側面 (図赤矢印方向) に衝撃を与えることで作動します。



タイプ Y4 (フォルクスワーゲン)

テンショナー部の前面 (図赤矢印方向) に衝撃を与えることで作動します。

